



2026年(令和8年) 第25週 (6/15 ~ 6/21) 定点把握対象疾患について

**三宅島 感染症の報告はありません**

**御蔵島 感染症の報告はありません**

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

## 東京都の注目される定点把握対象疾患 [ 東京都感染症週報 第24週 ]

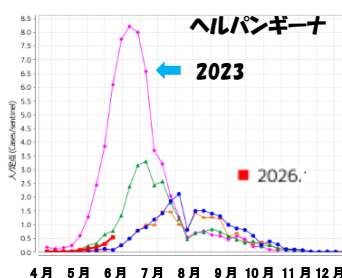
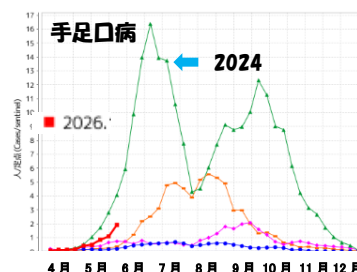
- ・手足口病の定点当たり報告数は、1.92で前週(1.10)より引き続き増加しています。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数も、0.55で増加傾向です。

## 島しょの情報(11島の医療機関からの報告) [ 第25週 (6/15 ~ 6/21) ]

- ・各島の感染状況は、落ち着いています。

## NEWS 夏季に流行する感染症について(手足口病・ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱)

**手足口病**は、エンテロウイルス属のウイルスによる感染症で、主に5歳以下の乳幼児を中心に流行します。主な症状は、口の中、手のひら、足の裏などにできる2~3mmの水ぼう性の発しんで、3~7日程度で消失します。他には発熱、食欲不振、のどの痛み、などの症状がみられます。基本的に予後は良好ですが、合併症として稀に髄膜炎や脳炎を起こすこともあります。(2024年に多くの感染報告がありました)

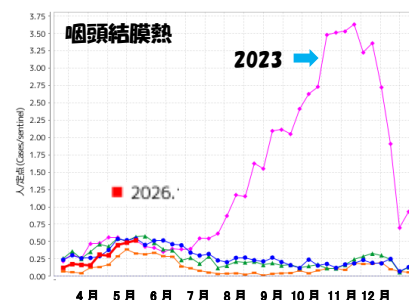


**ヘルパンギーナ**は、主にエンテロウイルス属のウイルスによる感染症で、主に乳幼児を中心に流行します。主な症状は、38度以上の突然の発熱に続き、口の中にできる水ぼう(小さな水ぶくれで痛みを伴う)が1週間程度続きます。食事や水分をとりにくくなり、脱水症状をおこすことがあるため、水分補給を心がけることが大切です。(2023年に多くの感染報告がありました)

3つの感染症とも主な感染経路は、飛沫感染・接触感染です。予防策は基本的な、手洗い・うがい・咳エチケットです。



**咽頭結膜熱(プール熱)**は、アデノウイルスによる感染症で、主に小児を中心に流行します。プールでの感染があることから「プール熱」とも呼ばれます。一年を通じて感染する恐れがあり、最近の傾向として冬季にも小流行がみられます。症状は、39度前後の発熱、咽頭炎、結膜炎を3主症状とし、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などがみられます。症状は1~2週間でおさまります。頻度は高くありませんが、重症化し肺炎などを合併することがあります。(2023年に多くの感染報告がありました)



(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所  
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009



<https://www.hokeniryoo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>

参考: 手足口病・ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱(東京都感染症情報センター)  
グラフ: 過去5年間の比較(東京都感染症情報センター)

# 島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

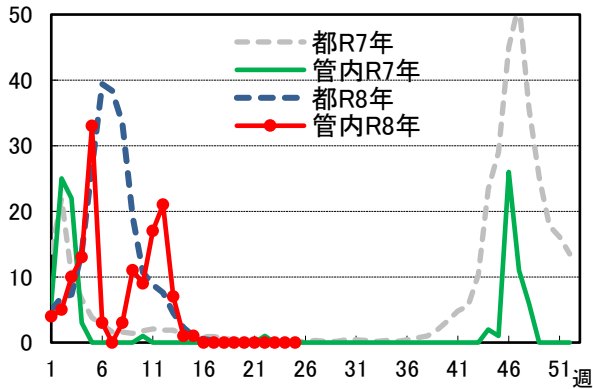
三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和8(2026)年						令和8 (2026)年 累計	東京都 定点あたり 24 週
	20 週	21 週	22 週	23 週	24 週	25 週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.12
咽頭結膜熱							0 (0)	0.52
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							1 (0)	1.63
感染性胃腸炎							12 (6)	5.63
水痘							0 (0)	0.33
手足口病							0 (0)	1.92
伝染性紅斑							0 (0)	0.00
突発性発しん				1 (0)			1 (0)	0.36
ヘルパンギーナ							0 (0)	0.55
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.07
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.01
不明発しん症							0 (0)	0.08
インフルエンザ							138 (22)	0.06
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)							5 (4)	0.13

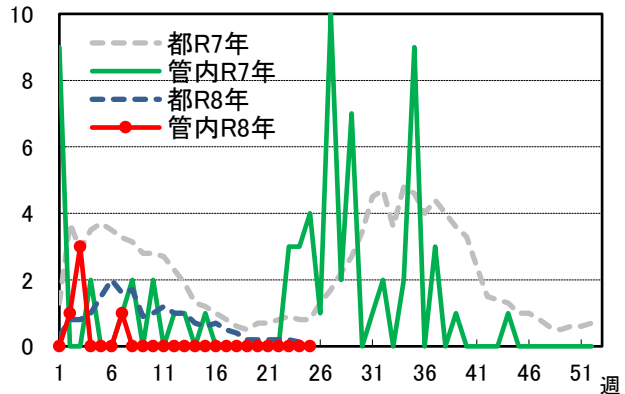
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅管内】患者報告数推移グラフ(管内とは三宅・御蔵両島の発生数計都は定点あたり発生数)

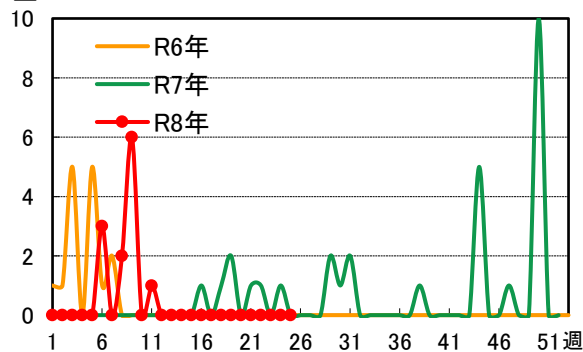
## ■ インフルエンザ



## ■ 新型コロナウイルス感染症



## ■ 感染性胃腸炎



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、  
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。